

市の財政状況をお知らせします

平成25年度決算と平成26年度上半期の収支状況

図 財政課・内線2233、水道局経営課7184-10114

市の財政状況がどのような状況にあり、皆さんが納めた税金や国・県からの支出金などが、どのように使われているかを知っていただくため、市では財政状況の公表を行っています。また、平成25年度決算を分かりやすく説明した「我孫子市の家計簿」を今回の決算内容とあわせて市ホームページに掲載しています。

平成25年度普通会計決算

普通会計決算

全国一律の基準で集計した会計で、我孫子市では一般会計が普通会計決算となります。

平成25年度は、歳入36億7595万円、歳出34億9127万円となり、歳入から歳出を差し引いた19億7468万円は平成26

年度へ繰り越しました。

歳入(収入)

歳入は、前年度に比べ4億1340万円(前年度比1・1%減)の減額となりました。

歳入の状況

歳入の根幹となる市税は、175億8123万円、歳入36億7595万円、歳出34億9127万円となり、歳入から歳出を差し引いた19億7468万円は平成26

表1 平成25年度普通会計歳入(収入)決算

Table with 4 columns: 区分, 内容, 収入済額, 構成比. Rows include 市税, 地方譲与税, 利子割交付金, etc.

表2 平成25年度普通会計歳出(支出)目的別決算

Table with 4 columns: 区分, 内容, 支出済額, 構成比. Rows include 議会費, 総務費, 民生費, etc.

表4 平成25年度特別会計決算

Table with 4 columns: 区分, 内容, 収入済額, 支出済額. Rows include 国民健康保険事業, 介護保険, etc.

表5 平成25年度水道事業会計決算

Table with 2 main columns: 収益的収支(税抜き), 資本的収支(税込み). Rows include 経営活動に伴う収支, 水道施設の建設, etc.

水道事業会計は、事業に必要な経費を水道料金収入で賄う「独立採算制」で事業を運営しています。平成25年度末の給水人口は、12万6227人で前年度と比べ0・3%減少し、普及率は94・2%です。年間給水量は1252万2919m³となり、前年度と比べ1・6%減少しました。うち、水道料金収入となる年間水量は1221万4550m³となり、前年度と比べ1・2%減少しましたが、年間給水量に対する割合は97・5%となり、前年度と比べ0・3%増加しました。収益的収入は、前年度と比べ0・9%の減額となりました。また、収益的支出は、負担金、修繕費などの経費が削減されたことにより、前年度と比べ1・4%の減少となりました。なお、収益的収支は、平成25年度も黒字となりました。

(表5)

歳出(支出)

歳出は、前年度に比べ8億6233万円(前年度比2・4%減)の減額となりました。

目的別歳出の状況

歳出を目的別に見ると、民生費(構成比39・7%)、総務費(同12・3%)、教育費(同10・9%)の順となっています。(表2)

性質別歳出の状況

歳出を性質別に見ると、人件費(構成比23・6%)、扶助費(同22・4%)、物件費(同18・0%)、普通建設事業費(同10・6%)の順となっています。

積立金は、財政調整基金が9億5500万円の減額、東日本大震災復興交付基金積立金が4億2250万円の減額により、対前年度

表3 平成25年度普通会計歳出(支出)性質別決算の状況

Table with 4 columns: 区分, 支出済額, 構成比, 対前年度比. Rows include 人件費, 扶助費, 公債費, etc.

比80・9%の減額となりました。災害復旧費は、除染などの放射能対策が進んだことから放射能関連経費が減少し、対前年度比61・1%の減額となりました。

普通建設事業は、障害者支援施設整備事業、クリーンセンターの主灰・飛灰分離施設整備事業、中学校の屋内運動場耐震補強等事業などの実施により、対前年度比20・4%の増額となりました。(表3)

特別会計決算

特別会計は、特定の事業を行うため一般会計と区別して経理する会計です。4つの特別会計の決算は表4のとおりです。公共下水道事業特別会計の市債現在高は137億2780万円となっています。

水道事業会計決算

水道事業会計は、事業に必要な経費を水道料金収入で賄う「独立採算制」で事業を運営しています。